

# イーストスプリング US投資適格債ファンド・ 為替ヘッジ付 (毎月決算型) / (年2回決算型)

愛称: USAボンド毎月 / USAボンド

追加型投信 / 海外 / 債券



## 当ファンドの主なリスク

金利変動リスク/信用リスク/為替変動リスク/流動性リスク/デリバティブリスク

当ファンドは、投資信託証券を通じて、主として米ドル建ての投資適格債券に投資します。このため、当ファンドの基準価額は投資する有価証券等の値動きによる影響を受け変動し、ご購入時の価額を下回ることもあります。

(注) 本資料では、「イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付(毎月決算型)」および「イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付(年2回決算型)」をそれぞれ「毎月決算型」「年2回決算型」ということがあります。また、総称して「当ファンド」ということがあります。

お申込みの際は最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)をご覧ください。

■ 設定・運用は

eastspring  
investments

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第379号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

# ファンドのポイント

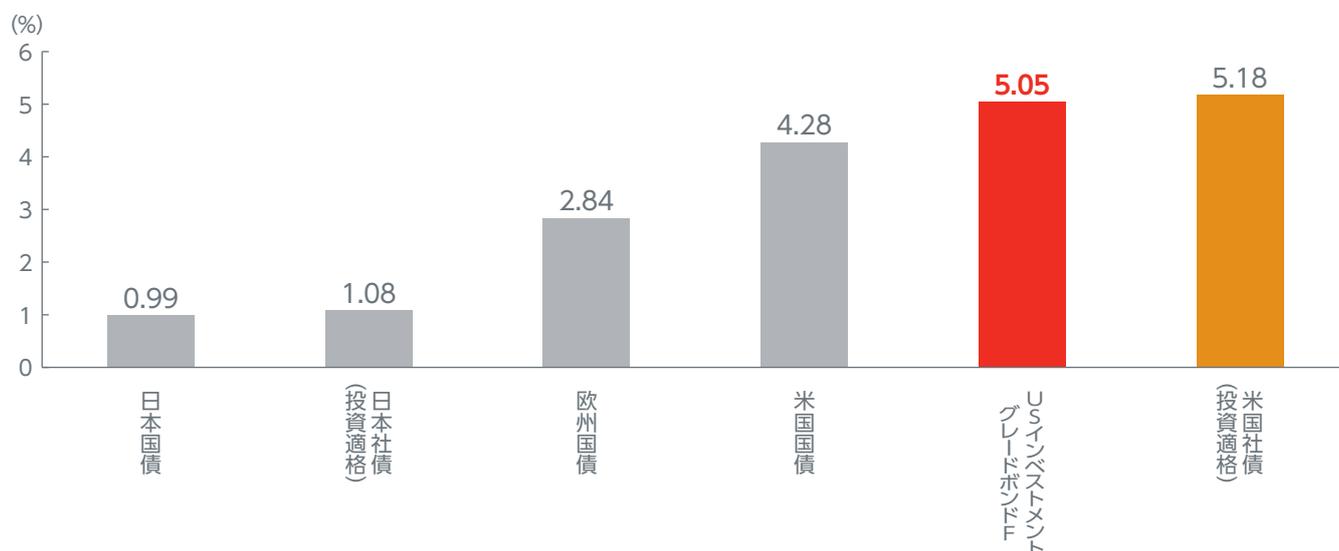
## 1 相対的に高く魅力ある金利水準

当ファンドは、「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ<sub>JDM</sub> (hedged)」(以下「USIGボンド・ファンド」)への投資を通じて、主として米ドル建ての投資適格債券へ投資します。また、投資適格債券の中でも社債を中心に投資を行います。

※「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド」(以下「USインベストメントグレードボンドF」といいます。)には複数のクラスがあり、当ファンドの主要投資対象ファンドは、対円で為替ヘッジを行うクラスJ<sub>JDM</sub> (hedged)になります。

社債は主に民間企業が発行する債券であるため、発行企業の信用度に応じて、国債よりも高い利回りで取引されています。

### 主な債券の利回り比較 (2024年10月末時点)

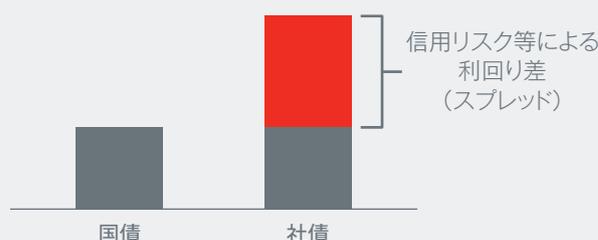


国債はICE BofAの各国国債インデックス、社債(投資適格)はICE BofAの各国コーポレート・インデックスを使用。出所: Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

### 社債の利回り

社債は、信用リスク等に応じて金利が上乘せされるため、国債等と比べて高い利回りが期待できます。一般的に社債の発行体の信用力が高いと利回り差は縮小し、信用力が低いと利回り差は拡大します。

#### 国債と社債の利回りイメージ



#### 信用リスクとは

信用リスクとは、債券の発行体があらかじめ定められた条件で利子や償還金を支払うことができなくなる場合(債務不履行)や、それが予想される場合に、債券の価格が下落するリスクです。

※上記は作成時点において信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではなく、将来予告なく変更が行われることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

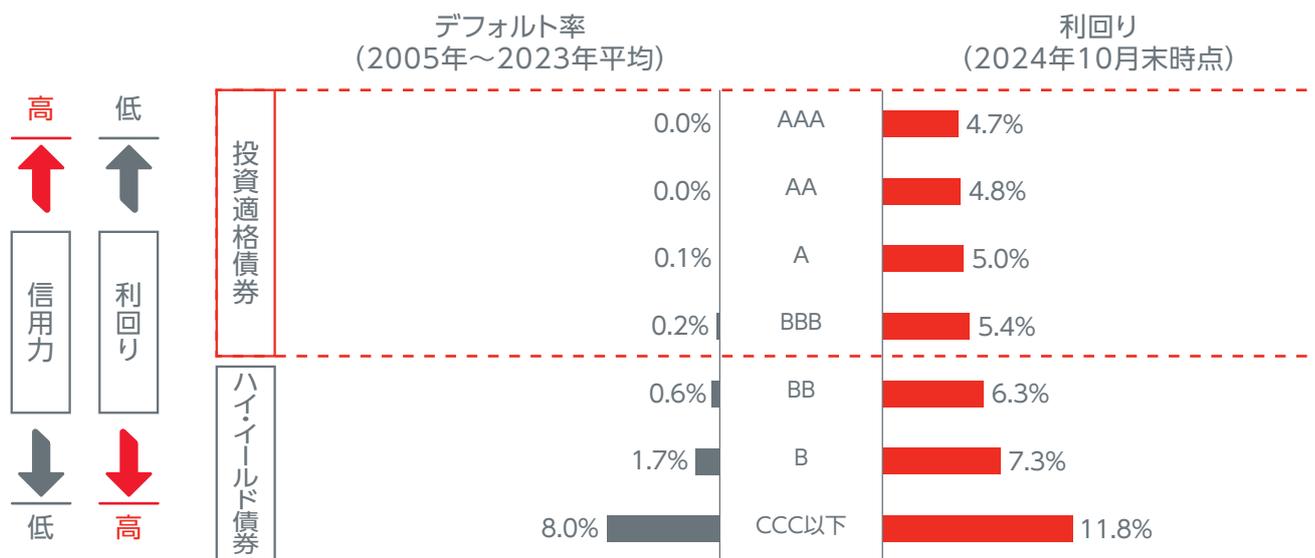
# 2

## 相対的に信用力の高い投資適格債券へ投資

相対的に信用力が高い投資適格債券を投資対象とします。

一般に、投機的格付であるハイ・イールド債券は、信用リスクが高い分、利回りも高くなります。USインベストメントグレードボンドFの投資対象である投資適格債券は、ハイ・イールド債券と比べて信用力が高く、デフォルト\*に陥る可能性が低い傾向にあります。

米国社債の格付別 デフォルト率と利回り



\*デフォルトとは、発行体があらかじめ定めた条件で債券の利子や償還金の支払いが不可能（債務不履行）となることをいいます。格付けの表記には例としてS&Pのものを使用。+/-の符号は省略。デフォルト率は、ムーディーズが調査対象としている企業における年次デフォルト率の対象期間の平均。利回りは、ICE BofAの格付別米国社債指数の利回りを使用。出所: Bloomberg L.P.、ムーディーズのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

### 米国社債市場は世界最大

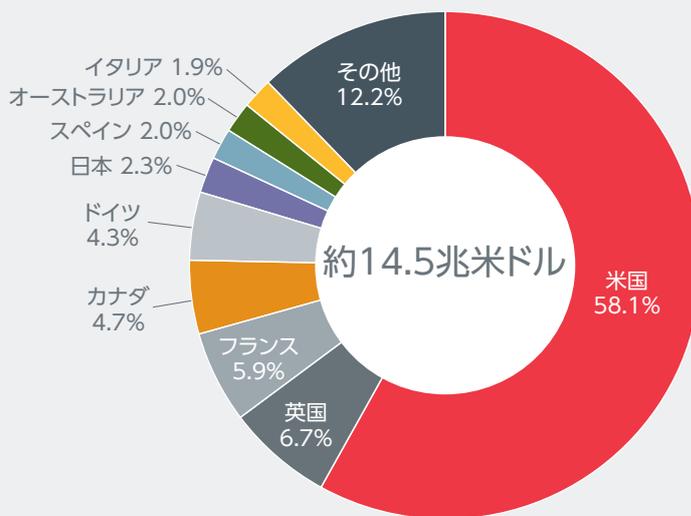
世界の社債インデックスの時価総額は、約14.5兆米ドル(約2,214兆円\*)です。世界最大の社債市場である米国は、インデックスの約58%を占め、時価総額では約8.4兆米ドル(約1,285兆円\*)となっています。社債を発行する企業も多く存在し、流動性が高くなっています。

USインベストメントグレードボンドFでは、米ドル建ての投資適格債券の中から徹底した信用力の分析により、主として格付けがAからBBBの優良銘柄を選択し、社債を中心に分散投資を行っています。

\*原則として取得時においてBBB以上の格付けを有する債券に投資を行います。BBBより格付けが下がった債券について継続して保有する場合があります。

\* 1米ドル=152.5円で換算

<ご参考>世界の社債インデックスにおける国別シェア (2024年10月末時点)



出所: ブルームバーグ・グローバル・クレジット・コーポレート・インデックスのデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
\*四捨五入の関係上、グラフの中の数字の合計が100%にならない場合があります。

※上記は作成時点において信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではなく、将来予告なく変更が行われることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# 3

## 為替ヘッジで為替変動の影響を低減

外国債券投資においては、為替変動リスクが伴います。  
「USIGボンド・ファンド」において対円での為替ヘッジを行うことにより、為替変動リスクの低減を図ります。

### 為替ヘッジとは

- ・為替ヘッジとは、あらかじめ将来の為替レートを予約することで、外貨建て資産等への投資に伴う為替変動リスクを低減するための取引手法です。
- ・一般的に円とヘッジ対象通貨の短期金利差分に加え、為替市場での需給に応じたコストが発生します。
- ・米ドル建て資産を円でヘッジする場合は以下のようにヘッジコストが算出されます。

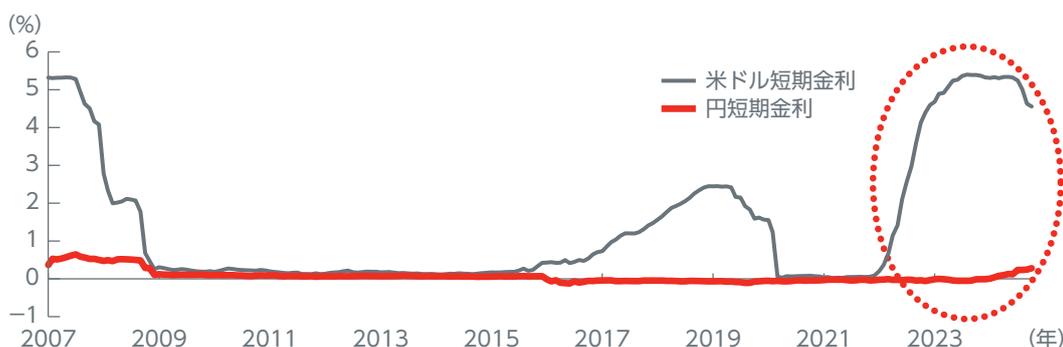
$$\text{為替ヘッジコスト} = \text{米ドルの短期金利} - \text{円の短期金利} + \text{需給要因}$$

※為替ヘッジコストは短期金利差の要因に加え、通貨の需要や為替見通しを反映した需給要因によっても変動します。

### ▶ 為替ヘッジコストの水準について

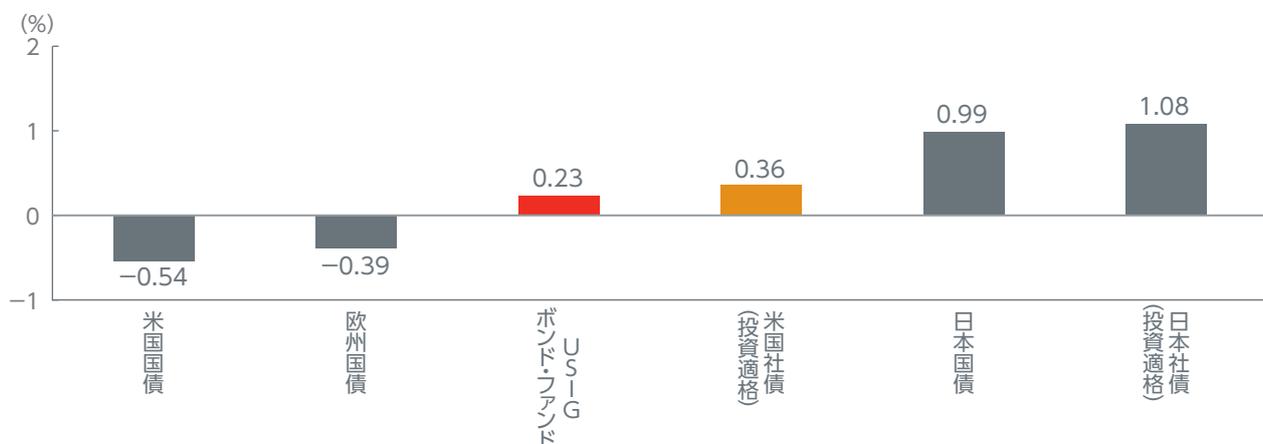
米国の短期金利は2021年末以降上昇傾向でしたが、2024年後半には米国の利下げ等の影響により、低下に転じました。2024年10月末現在の日米短期金利差は約4.3%となっています。

米ドルと円の短期金利の推移 (2007年1月末～2024年10月末、月次)



短期金利は米ドル、円ともにオーバーナイト・インデックス・スワップ金利を使用。  
出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

### <ご参考> 為替ヘッジコスト控除後の利回り比較 (2024年10月末時点)

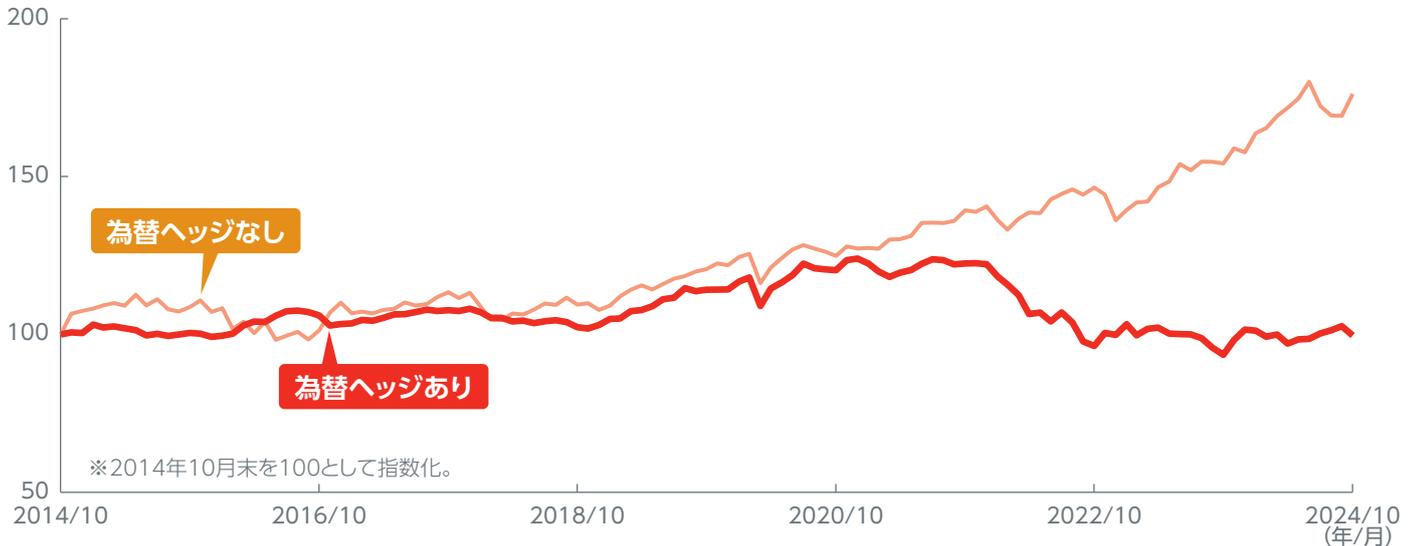


国債はICE BofAの各国国債インデックス、社債(投資適格)はICE BofAの各国コーポレート・インデックスを使用。  
為替ヘッジコスト控除後の利回りは、2024年10月末時点のUSインベストメントグレードボンドFおよび各指数の利回りから、同時点のスポットレートと3か月フォワードレートの価格差に基づき算出し、年率換算したヘッジコストを差し引いて計算しています。  
出所: Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※上記は当社で計算したヘッジコストを控除した利回りであり、実際の為替ヘッジ後の利回りとは異なります。

※上記は作成時点において信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではなく、将来予告なく変更が行われることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

米国投資適格債券の過去のインデックスの推移を比較すると、「為替ヘッジあり」のほうが相対的に変動幅は小さくなっています。

米国投資適格債券インデックスの推移(2014年10月末~2024年10月末、月次)



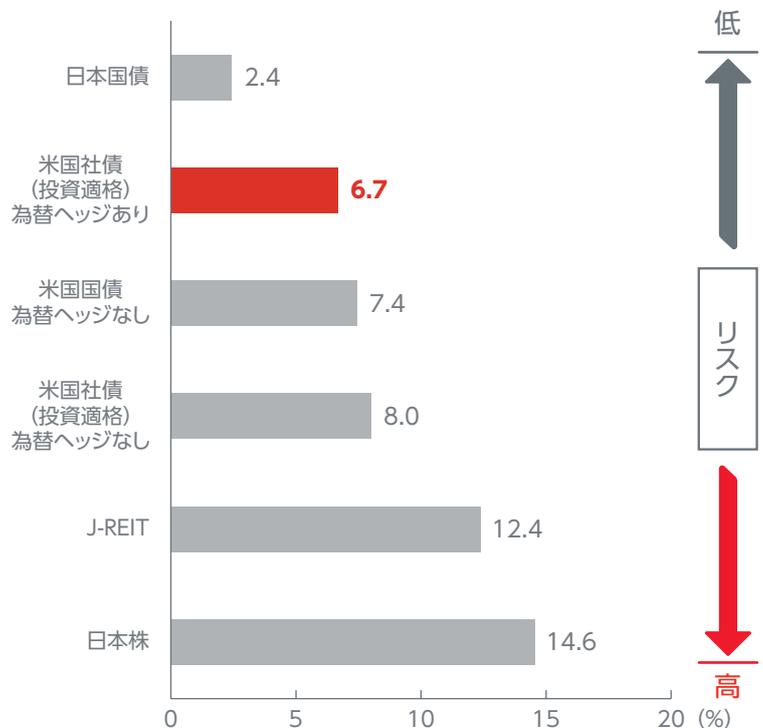
米国投資適格債券はICE BofA米国コーポレート・インデックス、為替ヘッジありは円ヘッジベース、為替ヘッジなしは円ベースを使用。  
出所:Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※当インデックスは、例示のために用いたものであり、当ファンドおよびUSインベストメントグレードボンドFのベンチマークではありません。

米国投資適格債券と他資産のトータル・リターン変動リスク\*の比較(2014年10月末~2024年10月末)

### トータル・リターン変動リスク

右図は各資産の過去10年間の平均トータル・リターン(投資損益)の変動性を標準偏差で表したものです。ここで示す数字はそれぞれの資産を1年間保有した場合に投資損益がどの程度変動するかを示しています。この数値が小さいことは投資損益のばらつきが少ないことを意味しています。

債券投資の損益の変動性は、株式やリートと比較して低い傾向がみられます。また米国社債への投資においては、為替ヘッジをすることで変動性が抑えられているといえます。



\*各指数の月次騰落率の標準偏差を算出し、年率換算。  
日本株はTOPIX(東証株価指数)、J-REITは東証REIT指数を使用。日本株、J-REITを除き、ICE BofAの各指数(国債はICE BofAの各国国債インデックス、社債(投資適格)はICE BofAの各国コーポレート・インデックス)を使用。  
米国社債(投資適格) 為替ヘッジありは円ヘッジベース、その他は円ベースを使用。  
出所:Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※上記は作成時点において信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではなく、将来予告なく変更が行われることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

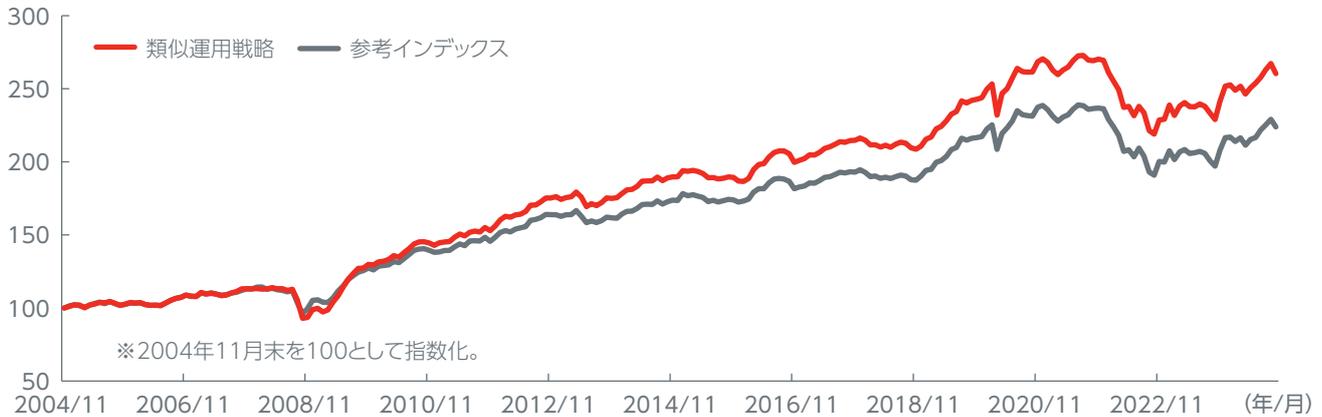
# 4

## ピーピーエム アメリカ インク (PPMA) の運用力

USインベストメントグレードボンドFは、約20年に及ぶ運用実績があります。

運用を行うPPMAは、格付機関や外部のアナリストの評価に依存せず、クレジット・アナリスト・チームが徹底した個別銘柄の調査・分析を行います。ポートフォリオ・マネジャーは、企業評価に加えて業種および個別銘柄の分散に配慮した銘柄選択およびポートフォリオ構築を行います。

＜ご参考＞類似運用戦略\*の運用実績(米ドルベース、2004年11月末～2024年10月末、月次)



\*類似運用戦略は、当ファンドと同一の投資戦略および運用プロセスに従って、PPMAが運用する、ルクセンブルグ籍のイーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスD(米ドル建て)の実績。参考インデックスは、ICE BofA米国コーポレート・インデックスを使用。類似運用戦略および参考インデックスは購入時の手数料、運用報酬等を控除していません。また、類似運用戦略および参考インデックスは当ファンドおよびUSインベストメントグレードボンドFのベンチマークでも参考指数でもありません。

(注) 上記は当ファンドの実績を示すものではなく、本資料は類似運用戦略の勧誘を目的とするものでもありません。また、類似運用戦略ならびに当ファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。

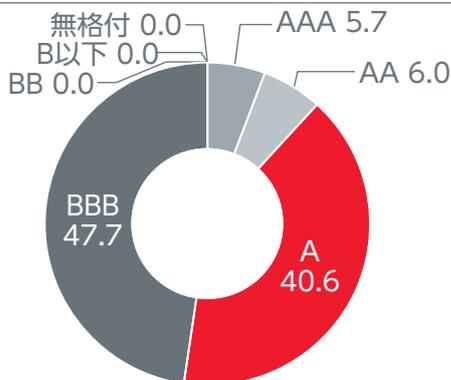
出所:PPMA、Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

## USインベストメントグレードボンドFの概要(2024年10月末時点)

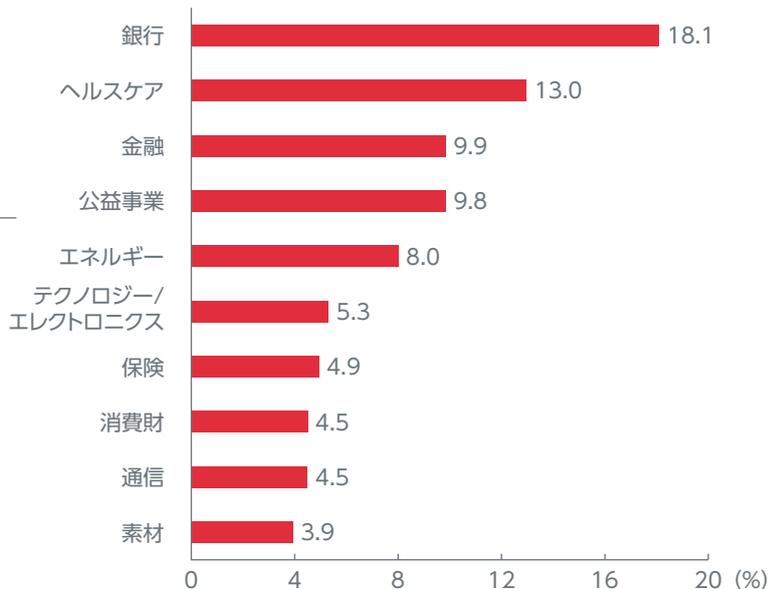
### 債券ポートフォリオの概要

平均格付け	A-
平均最終利回り	5.1%
平均デュレーション	6.7年
組入銘柄数	465

### 格付別組入状況 (%)



### 組入上位10業種(社債のみ)



※平均格付けは、S&Pおよびムーディーズの格付けをもとに、イーストスプリング・インベストメンツが独自の基準に基づき加重平均して計算したものであり、当ファンドおよびUSインベストメントグレードボンドFにかかる信用格付けではありません。

※「格付別組入状況(%)」の比率は、組入有価証券評価額の合計を100%として計算しています。四捨五入の関係上、合計値が100%にならないことがあります。

※「組入上位10業種(社債のみ)」は、組入有価証券のうち社債の評価額を100%として計算しています。業種は、ICE BofAの業種区分に準じて表示しています(一部イーストスプリング・インベストメンツの判断に基づく分類を採用)。

※上記は作成時点において信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではなく、将来予告なく変更が行われることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



### バンク・オブ・アメリカ

格付け：A1/A-  
業種：総合銀行

預金業務、資産運用などのサービスを提供する米国の銀行。世界各地で事業を展開。



### ベライゾン・コミュニケーションズ

格付け：Baa1/BBB+  
業種：無線通信

米国の総合通信会社。有線・無線通信、インターネットなど様々なサービスを提供する。



### アンハイザー・ブッシュ・インベブ

格付け：A3/A-  
業種：アルコール飲料

ベルギーの酒類メーカー。バドワイザー、コロナ、ステラ・アルトワなど有名ブランドを持つ。



### サビン・パス・リクィファクション

格付け：Baa1/-  
業種：石油・ガスパイプライン

液化天然ガス(LNG)関連施設の開発、運営などに従事。



### CVSヘルス

格付け：Baa2/BBB  
業種：ヘルスケアサプライチェーン

ドラッグストア運営や調剤サービスを中心に事業を展開する米国の総合ヘルスケア会社。



### アッヴィ

格付け：A3/A-  
業種：大手製薬

米国に本社を置く、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業。

格付けはムーディーズ(発行体格付または長期格付)／S&P(長期自国通貨建発行体)、業種はBloomberg L.P.による分類。2024年10月末時点。出所:Bloomberg L.P.および各社HP等のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。  
※上記の企業例は、特定の銘柄を推奨するものでも組入れをお約束するものでもありません。写真はあくまでイメージであり、上記の企業とは関係ありません。

※上記は作成時点において信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではなく、将来予告なく変更が行われることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# ファンドの特色

## 1 主として、米国の債券市場において発行された米ドル建ての投資適格債券に投資を行います。

- ▶「イーストスプリング・インベストメンツ - USインベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ<sub>JDM</sub>(hedged)」(以下「USIGボンド・ファンド」ということがあります。)への投資を通じて、米国の債券市場において発行された米ドル建ての投資適格債券に投資を行います。

### 「USIGボンド・ファンド」の投資対象

- ・主として、米国の債券市場において発行されたBBB-相当以上の米ドル建ての投資適格債券とします。「投資適格債券」とは：債券およびその発行体等のなかには、債務履行(元本および利子の支払い)の確実性の程度により、第三者機関によって格付けされているものがあります。BBB-相当以上に格付けされている債券は「投資適格債券」と呼ばれます。
- ・投資適格債券の中でも社債を中心に投資を行います。なお、米国債、資産担保証券、不動産担保証券にも一部投資を行うことがあります。
- ・原則として、取得時においてBBB-相当以上の格付けを有する債券に投資を行います。BBB-相当より格付けが下がった債券について継続して保有することは可能とします。ただし、当該債券への追加投資は行いません。

## 2 外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行います。

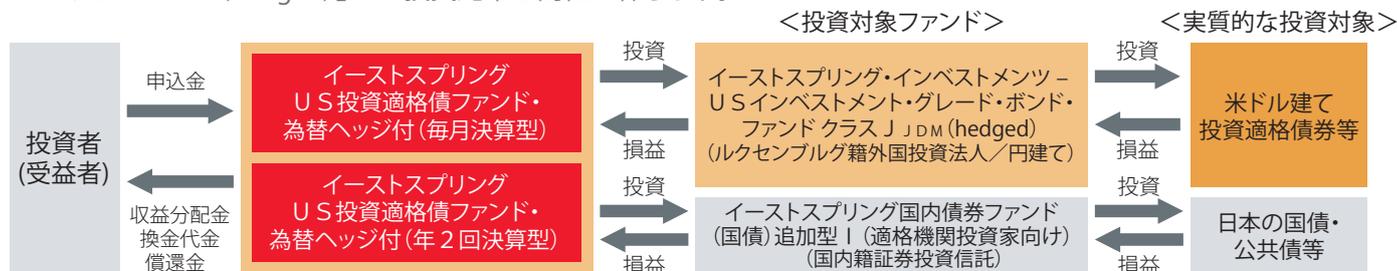
- ▶「USIGボンド・ファンド」において対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動の影響を完全に排除できるものではありません。

## 3 「USIGボンド・ファンド」の運用は、ピーピーエム アメリカ インク(PPMA)が行います。

- ▶債券運用のスペシャリストであるピーピーエム アメリカ インクが運用を行います。

### ファンドの仕組み

- ▶当ファンドは、複数の投資信託証券に投資するファンド・オブ・ファンズ形式で運用を行います。
- ▶原則として、「イーストスプリング・インベストメンツ - U S インベストメント・グレード・ボンド・ファンド クラスJ<sub>JDM</sub>(hedged)」への投資比率を高位に保ちます。



## 4 <毎月決算型>と<年2回決算型>の2つのファンドがあります。

### <毎月決算型>

- ▶原則として、毎月21日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- ▶継続的に分配を行うことを目指して、分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

### <年2回決算型>

- ▶原則として、毎年4月21日および10月21日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。
- ▶元本の成長を重視して、分配金額を決定します。分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

※当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

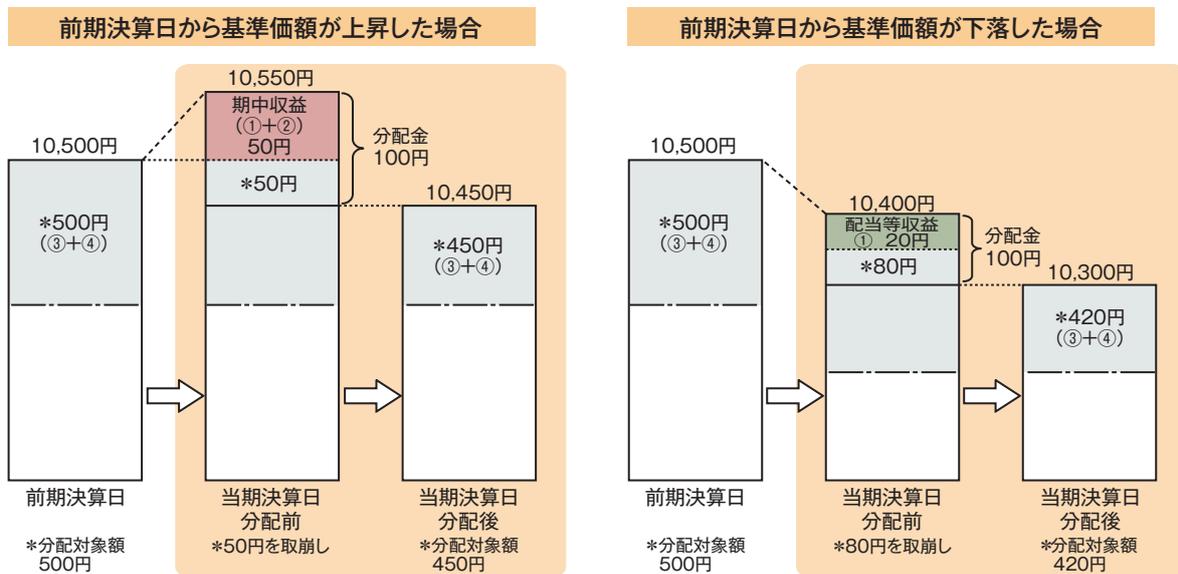
## 〔 収益分配金に関する留意事項 〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

### 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合



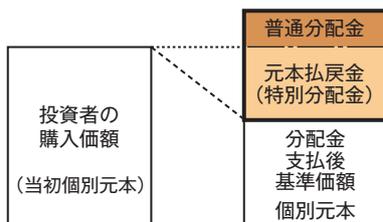
(注) 分配金は、分配方針に基づき、以下の分配対象額から支払われます。

- ①経費控除後の配当等収益    ②経費控除後の売買益・評価益    ③分配準備積立金    ④収益調整金

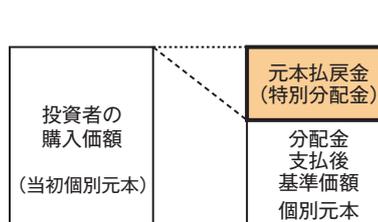
※上図はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

#### 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



#### 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は**非課税扱い**となります。

普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金: 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。(特別分配金)

(注) 普通分配金に対する課税については、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照ください。

※当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認ください。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# 当ファンドのリスクについて

## 基準価額の変動要因

投資信託は預貯金とは異なります。

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて主に値動きのある有価証券に投資するため、当ファンドの基準価額は投資する有価証券等の値動きによる影響を受け、変動します。したがって、当ファンドは投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。当ファンドの運用による損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。

## <基準価額の変動要因となる主なリスク>



### 金利変動リスク

一般に、金利が上昇した場合には債券の価格は下落するため、基準価額の下落要因となります。当ファンドは主に債券を実質的な投資対象としますので、金利変動による債券価格の変動の影響を受けます。また、期限前償還の条項がある債券等に投資する場合は、償還差損が発生する可能性や再投資リスク等があり、基準価額の変動要因となります。



### 信用リスク

債券の価格は、発行者の経営・財務状況によっても変動します。特に発行者に債務不履行やその可能性が生じた場合には、債券の価格は大きく下落する可能性があります。



### 為替変動リスク

主要投資対象とする投資信託証券において、主に米ドル建ての資産に投資しますが、原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全にヘッジすることができるとは限らないため、米ドルの対円での為替変動の影響をすべて排除できるものではありません。外国為替の予約取引等により為替ヘッジを行うため、為替市場の需給環境により日米の短期金利差相当分以上のヘッジコストがかかる場合があり、基準価額の下落要因となることがあります。



### 流動性リスク

組入れた有価証券の市場規模が小さく取引量が少ない場合や市場が急変した場合、当該有価証券を希望する時期や価格で売却できないことがあり、基準価額の下落要因となる場合があります。



### デリバティブリスク

主要投資対象とする投資信託証券において、先物、オプション等のデリバティブを用いることがあります。デリバティブは運用の効率を高めるため、または有価証券の価格、為替等の変動による影響を低減するために用いられるものですが、市場の動向によっては本来の目的を十分達成できない場合があります。また、デリバティブはその基礎となる有価証券の価格等の動きを超えて変動する場合があります、結果として基準価額に影響を与えることがあります。

(注) 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスクや取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- 金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情（流動性の極端な減少等）があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受付けたお申込みの受付を取消すことがあります。
- 分配金は計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。））を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。分配金はファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後は純資産が減少し、基準価額が下落する要因となります。投資者のファンドの購入価額によっては、支払われた分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。

※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

# イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

175年以上の歴史を有する英国の金融サービスグループの一員です。

- ▶ イーストスプリング・インベストメンツ株式会社は、1999年の設立以来、日本の投資家のみなさまに資産運用サービスを提供しています。
- ▶ イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社は、アジア・アフリカ地域を中心に業務を展開しています。
- ▶ 最終親会社グループはいち早くアジアの成長性に着目し、2024年10月末現在、アジアでは16の国や地域で生命保険および資産運用を中心に金融サービスを提供しています。

## ピーピーエム アメリカ インク (PPMA)

- ▶ 米国シカゴに本拠地を置き、運用資産額は約698億米ドル(約11.2兆円\*)におよびます(2024年6月末現在)。\*1米ドル=160.46円で換算
- ▶ 運用業務に特化しており、安定性が重視される生命保険や年金等の運用に高い実績を持ち、特に債券関連の運用に定評があります。

### 当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、当ファンドの参考となる情報の提供およびその内容やリスク等を説明するために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

### 投資信託のお申込みに関してご留意いただきたい事項

- ◇投資信託は、預貯金および保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護および補償の対象ではありません。また、登録金融機関で取扱う場合、投資者保護基金の補償対象ではありません。
- ◇過去の実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- ◇投資信託は、株式、公社債等の値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、ご購入時の価額を下回ることもあり、投資元本が保証されているものではありません。これらに伴うリスクおよび運用の結果生じる損益は、すべて投資者のみなさまに帰属します。
- ◇ご購入の際は、あらかじめ販売会社がお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等(目論見書補完書面を含む)の内容を必ずご確認のうえ、投資のご判断はご自身でなさいますようお願いいたします。

※ICEの指数データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(以下「ICE Data」)及び/またはその第三者サプライヤーの財産です。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。

※TOPIX(東証株価指数)の指数値及びTOPIX(東証株価指数)に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社の知的財産です。

※ブルームバーグ・グローバル・クレジット・コーポレート・インデックスとは、投資適格格付と投機的格付の債券を合わせた世界の社債市場の値動きを表す指数です。「Bloomberg®」は、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピー・ビーおよびその関連会社(インデックスの管理会社であるBloomberg Index Services Limitedを含みます)の商標およびサービスマークです。

※当ファンドのリスクは9ページ「当ファンドのリスクについて」、手数料等の概要は最終ページ「ファンドの費用」の欄にてご確認いただけます。また、それぞれの詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# イーストスプリングUS投資適格債ファンド・為替ヘッジ付(毎月決算型) / (年2回決算型)

お申込みメモ	
購入単位	販売会社がそれぞれ別に定める単位とします。
購入価額	お申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金の受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	換金の受付日から起算して原則として6営業日目からお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	営業日が以下の日のいずれかにあたる場合は購入・換金のお申込みはできません。 ①ルクセンブルグの金融商品取引所の休場日 ②ルクセンブルグの銀行休業日 ③ニューヨーク証券取引所の休場日 ④ニューヨークの銀行休業日 なお、上記以外に委託会社の判断により、購入・換金申込受付不可日とする場合があります。
申込締切時間	原則として午後3時30分までに、購入・換金の申込みにかかる販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。 なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳細はお申込みの販売会社にお問い合わせください。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けたお申込みの受け付けを取消すこと、またはその両方を行うことがあります。
信託期間	無期限(2016年5月10日設定)
決算日	<毎月決算型> 毎月21日(休業日の場合は翌営業日) <年2回決算型> 毎年4月21日および10月21日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	<毎月決算型> 原則として毎月決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。 <年2回決算型> 原則として毎年2回決算を行い、収益分配方針に基づき分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。 また、受益者と販売会社との契約によっては、税金を差引いた後、無手数料で収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象となります。 <年2回決算型>は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 <毎月決算型>はNISAの適用対象ではありません。 益金不算入制度および配当控除の適用はありません。
その他	販売会社によっては、<毎月決算型>および<年2回決算型>の間でスイッチングを取扱う場合があります。また、販売会社によっては、いずれか一方のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ファンドの費用	
投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	<b>2.2%(税抜2.0%)</b> を上限として販売会社がそれぞれ別に定める率を、お申込受付日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用(信託報酬等)	純資産総額に対して年率0.693%(税抜0.63%) 計算期間を通じて毎日費用として計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは毎計算期末または信託終了時に支払われます。
当ファンド①	<当ファンド①の配分>
委託会社	年率0.220%(税抜0.20%)
販売会社	年率0.440%(税抜0.40%)
受託会社	年率0.033%(税抜0.03%)
投資対象とする投資信託証券②	年率0.300%程度 ※このほか、監査費用、組入有価証券の売買時の売買手数料等がかかります。
実質的な負担(①+②)	<b>年率0.993%程度(税込)</b>
その他の費用・手数料	信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書および運用報告書等の印刷費用、公告費用等)は、純資産総額に対して年率0.10%を上限とする額が毎日計上され、日々の基準価額に反映されます。信託財産からは4月および10月の計算期末または信託終了時に支払われます。また、組入有価証券の売買時の売買委託手数料、外国における資産の保管等に要する費用、信託財産に関する租税等についても信託財産から支払われます。 「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示することができません。

※投資者のみなさまが負担する費用の合計額は、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 委託会社およびファンドの関係法人 委託会社およびその他の関係法人の概要は以下の通りです。

委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 当ファンドの委託会社として信託財産の運用業務等を行います。
受託会社	三井住友信託銀行株式会社 当ファンドの受託会社として信託財産の保管・管理業務等を行います。
販売会社	販売会社に関しては、以下の委託会社の照会先までお問合せください。 イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 TEL.03-5224-3400(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで) ホームページアドレス <a href="https://www.eastspring.co.jp/">https://www.eastspring.co.jp/</a> 当ファンドの受益権の募集の取扱いおよび販売、換金に関する事務、収益分配金・換金代金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

※詳細につきましては、最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。